

2019/4/29 春の輪読会

1

# 第5回の リフレクシヨン

九州工業大学 林田将敬 吉田信将

## 理論の「プレゼンシング」がよくわからない

- ▶ 「まだ起こっていない未来に確信を持てる」とは？
  - ▶ 「枠組みへの執着や変化への恐れを捨てた」状態らしい
  - ▶ 「根拠はないけど自信がある」状態らしい
- ▶ 整理するために、アイデア出しの例として「Youngの発想法」を紹介します

# プレゼンシングとは何か

- ▶ 「Youngの発想法」を利用して整理する
  - ▶ 努力の放棄をして、芽生えを待っている状態
  - ▶ 「耕す」からは、いったん手を話している
- ▶ その他、暗黙知の話題が上がっていたのでその話もします
  - ▶ Uの谷を潜る指針になっている

1. 前回の振り返り
2. プレゼンテーションとは
3. 暗黙知とは

# アイデアを思いつく 3つのフェーズ

## ▶ 耕すフェーズ

- ▶ 情報を集め、かき混ぜ、つながりを見いだそうとするフェーズ

## ▶ 芽生えるフェーズ

- ▶ 情報を寝かせて、アイデアが生まれるのを待つフェーズ
- ▶ 管理できない

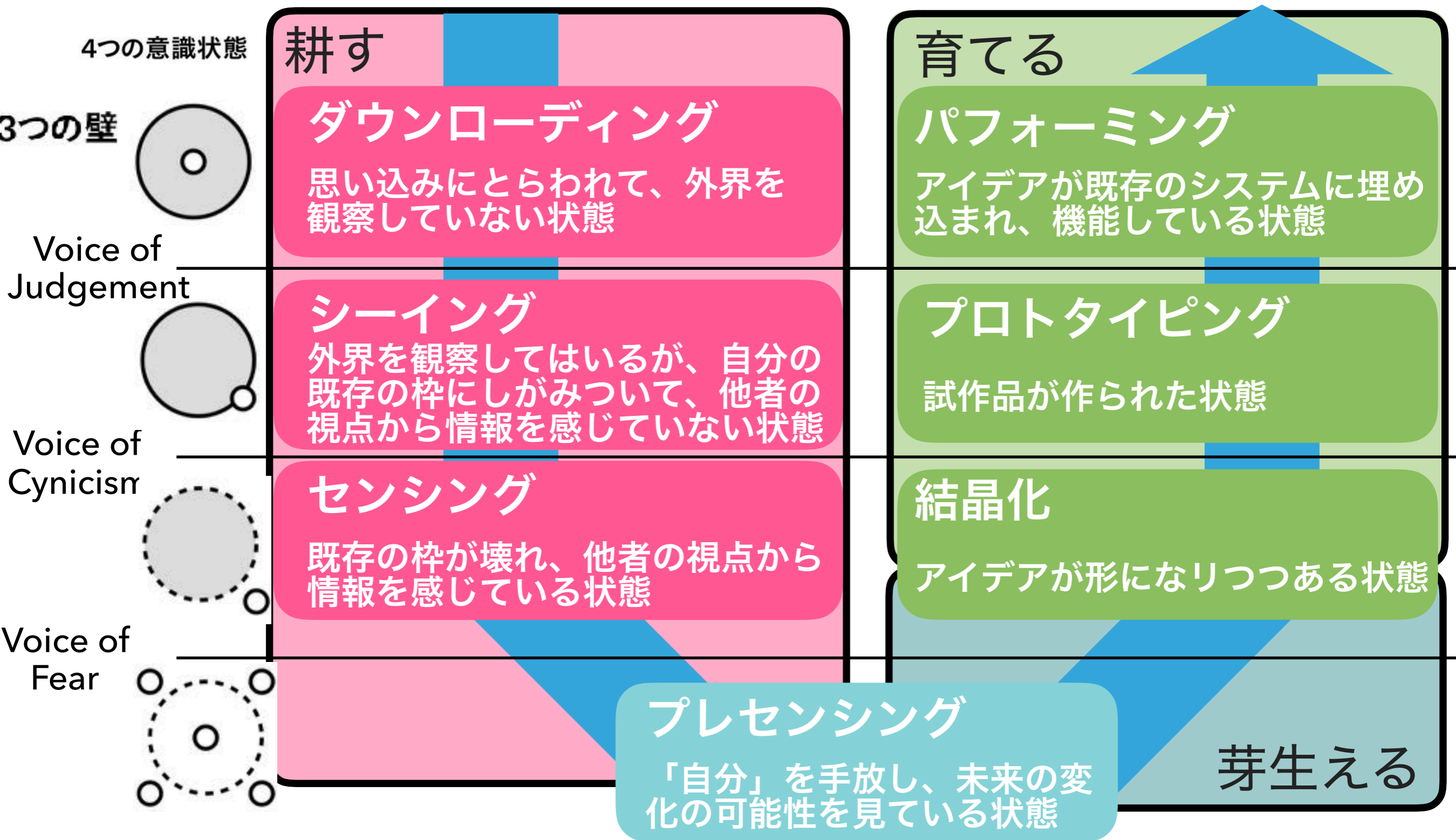
## ▶ 育てるフェーズ

- ▶ 生まれたアイデアを磨き上げていくフェーズ



3フェーズのイメージ図

# U理論の詳細



1. 前回の振り返り
2. プレゼンテーションとは
3. 暗黙知とは

## YOUNGの発想法

1. 資料集め
2. 資料の加工
3. 努力の放棄
4. アイデアの誕生
5. アイデアのチェック



## YOUNGの発想法

耕す

1. 資料集め
2. 資料の加工

芽生える

3. 努力の放棄
4. アイデアの誕生

育てる

5. アイデアのチェック

1. 前回の振り返り
2. プレセンシングとは
3. 暗黙知とは

## 暗黙知の2種類の意味

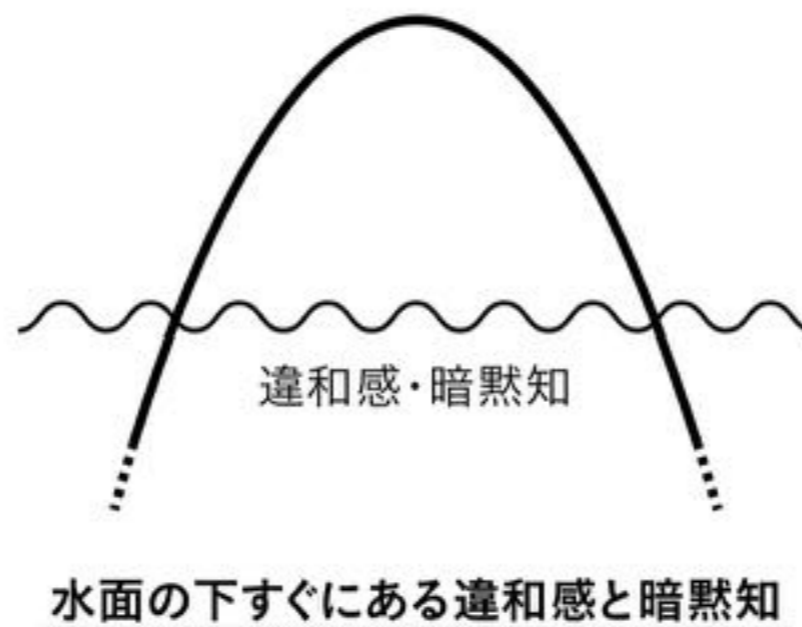
- ▶ ポランニーの暗黙知
  - ▶ 明示的で言語的な次元とは別の、暗黙的で非言語的な次元について語られたもの (p202のコラムより)
  - ▶ 問題の解決に近づきつつある感覚
  - ▶ 本で紹介されているのはこっち

## 暗黙知の2種類の意味

- ▶ 野中郁次郎の暗黙知
  - ▶ まだ言語化されていない経験的知識
  - ▶ 表出化することができるが、まだされていないだけ
- ▶ 組織内で知識を創造する時の議論
  - ▶ 個人の知識創造を、組織内の相互作用で促進する

## 暗黙知の本の中での位置付け

- ▶ 耕すフェーズで出てくる
- ▶ 抽象概念から身体感覚、メタファと掘り下げて、水面に近づいてきた
- ▶ 水面のすぐ近くにあるものとは？ ... 違和感や暗黙知



## 暗黙知をどう用いるのか

- ▶ コンパスとして使っている
  - ▶ U理論の谷を潜る時に、逆戻りしないための指針
  - ▶ KJ法で付箋が100枚ある時に100!通り試さなくていいのは、暗黙知のおかげ(かも)
- ▶ なぜコンパス足り得るのか...は話すと長すぎるので今日はやめます

# プレゼンシングとは何か

- ▶ 「Youngの発想法」を利用して整理する
  - ▶ 努力の放棄をして、芽生えを待っている状態
  - ▶ 「耕す」からは、いったん手を話している
- ▶ その他、暗黙知の話題が上がっていたのでその話もしました
  - ▶ Uの谷を潜る指針になっている